

# 子育てサポート 実践中!

〈くるみんマーク取得企業〉  
株式会社新日本科学 (鹿児島市宮之浦町)



医薬品開発における各種受託研究などを行う(株)新日本科学(永田良一会長兼社長・従業員748人:鹿児島本店のみ)では、全社を挙げて「従業員の仕事と子育ての両立支援」に取り組んでいます。

同社では育児休業はもちろん、看護休暇、勤務時間短縮制度の導入に続き事業所内託児所「キラキラキッズ」を設置し、子どもの近くで安心して働ける環境整備を行っています。幼稚園入園を希望する保護者には、託児所から近隣の幼稚園に送迎して通園させるなどニーズに合わせたきめ細かい対応が取られています。

「当社は医薬品開発におけるすべての段階を一貫して受託できる体制を確立したオンリーワン企業で、優秀な人材の確保は重要な課題です。そのための一環として、従業員の平均年齢が30代前半と、これから子育て期に入る従業員が多いので、より魅力的で働きやすい職場づくりに取り組むようになりました。託児所では敷地内の散歩や社内での季節ごとの行事も行っており、仕事でも子どもたちの姿を見かけることがあります。そのような環境の中で、会社全体も子育て中の従業員に対する理解が自然に深まってきたように感じます。ワーク・ライフ・バランスの充実のため、今後も従業員一人ひとりのニーズに柔軟に対応していきたいと思います」(社長室長:松本敏さん)。

研究職の柴田聡美さんは「職場に託児所があるのでとても安心です。子どもも楽しそうに過ごしており、園の環境も良くてとても満足しています。職場の理解もあり、とても働きやすく働き甲斐もあります」と話していました。

今後も学童保育など、ニーズに合った子育て支援に取り組んでいく予定です。



柴田聡美さんと颯君(3歳)

## 用語解説

### メディア・リテラシー

メディアの情報を主体的に読み解く能力、メディアにアクセスし、活用する能力、メディアを通じコミュニケーションする能力の3つを構成要素とする複合的な能力のこと。



わたしは、ひとりひとりの心(ハート)を合わせながら、枝葉を伸ばして、地域に根付き大きく豊かに育つ木です。男女共同参画の大切さを伝え、広めるために「ハート」の葉は時に鳥になったり、蝶になったりします。そして、その木には、やがて花が咲き、男女共同参画という実を結んでほしいという願いを託しています。

## 編集後記

男女共同参画社会基本法施行から14年が経過しましたが、皆さんは生きやすい社会を実感していますか? 私自身は、イクメンやイクジイ、ワーク・ライフ・バランスといった言葉もよく耳にするようになった反面、まだまだ男女共同参画の理念の浸透が十分に進んでいないと感じることも多々あります。

だれもが安心して暮らせる社会をより身近に感じるためには、男女ともにお互いの人権を尊重しあい、相手の立場を理解し助け合う心を育むことが大切なのではないかと思います。

今回、新たに制定された男女共同参画推進条例を中心に、行政だけではなく市民の皆さん、事業所の皆さんが一体となって、女性も男性もありのままの自分でいられる生きやすい鹿児島市づくりに一緒に取り組んでみませんか?

男女共同参画情報誌

# すてっぷ vol.39

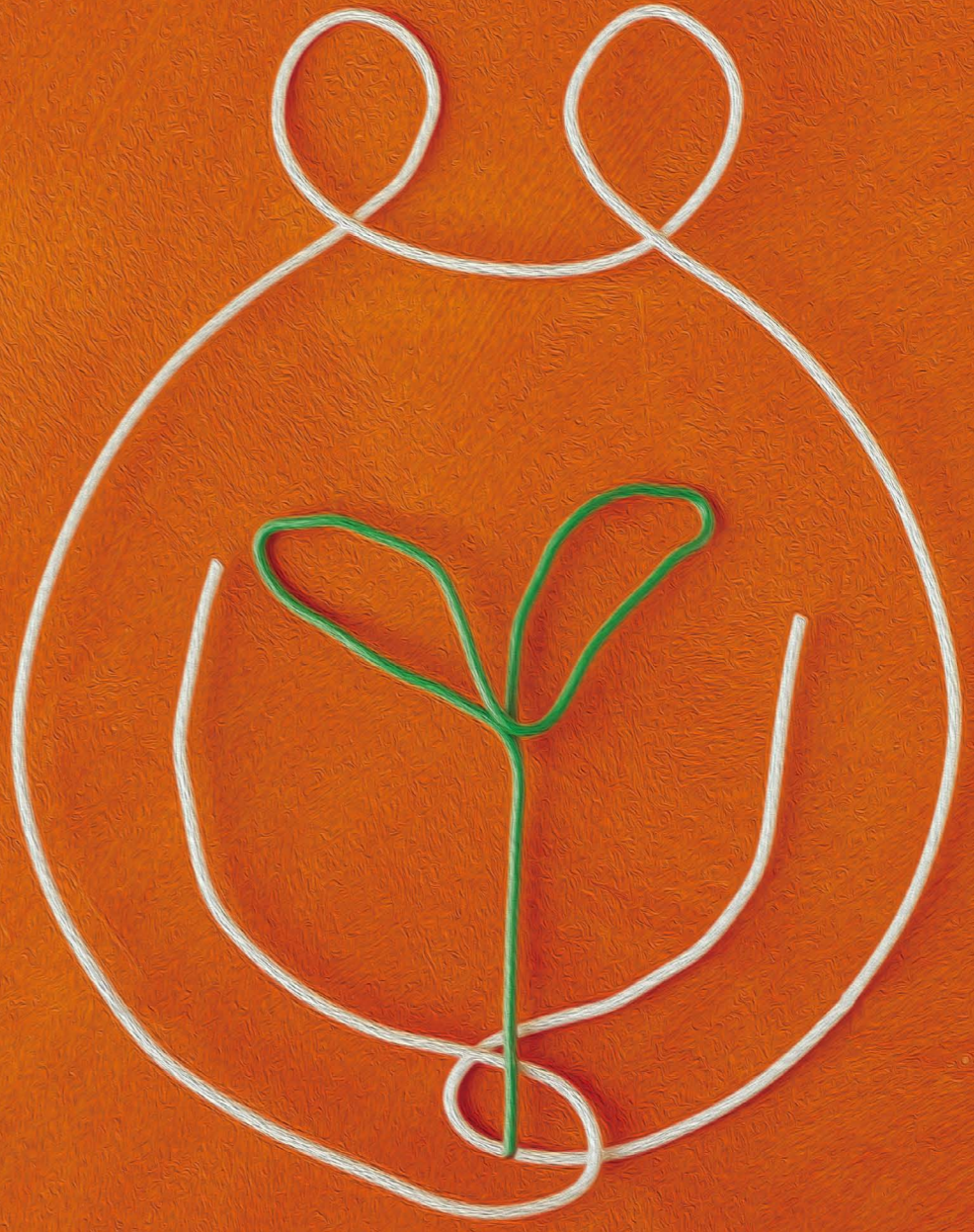
発行: 鹿児島市市民局市民文化部男女共同参画推進課  
〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目4-1 TEL099-813-0852  
制作: 南日本新聞開発センター

### 表紙について

男女共同参画という意識と実践の芽。その思いを育てていくのは人が人を思いやれるやさしさと明るい社会を築くみんなの輪。

本冊子は、紙へのリサイクルに適した材料のみ用いて作成しています。

# すてっぷ



## 特集

# 鹿児島市 男女共同参画 推進条例

## Front interview

フロントインタビュー

## 男女共同参画のための教育と メディア・リテラシー

メディアジャーナリスト 渡辺 真由子 さん